



ちがさきサポセン

Vol.62

NEWSLETTER

12・1 月主催イベント

ものづくりや遊び、さまざまな体験を通して、わたしのまち“茅ヶ崎”を知るイベント



「こどたん 2019」(こどもたいけん☆ワイワイまつり)

2019 年 3 月 30 日(土) 10:30～15:00 @茅ヶ崎市総合体育館 1 階&前庭

《参加企画募集！ 申込締切 12 月 21 日(金)》

▶会場と募集数：団体ブース 50 程度(団体数は目安、増減の見込みあり)

【体育室(床シートあり)】…25

【体育室(床シートなし)】… 5

【柔剣道場】…………… 4

【前庭・正面玄関前】……………16

▶参加条件：①子どもが「体験」して、楽しめること

②展示、パフォーマンス、食品・物品販売も可。ただし、必ず「体験」の要素をいれること

③営利目的ではないこと、会場内で政治・宗教に関する活動は行わないこと

～募集要項は、サポセンにて配布、または HP からダウンロード可能、その他問合せは、サポセンまで～

募集

平成 31 年度実施 市民活動げんき基金補助事業 説明会 & 企画書作成会

市民活動げんき基金補助制度とは、市民の自主的で公益的な市民活動を財政面で支援する仕組みです。皆さんから寄せられた寄付金と同額を市が上乗せし財源とします。

補助の種類は、市民が受益者となり得る公益的な事業で団体の活動を軌道にのせるための「スタート支援」と、もっと活動を発展させたいための「ステップアップ支援」があります。

「伝わる！企画書作成会」では制度の説明に加え、事業の組み立て方や企画書の書き方、申請の流れや公開プレゼンテーション(来年 3 月)の進め方などアドバイスします！制度に関心のある方など、ぜひご参加ください。

▶日時：12 月 11 日(火)11:00～ (所要時間は約 1 時間)

12 月 21 日(金)14:00～、18:00～

▶場所/申込：ちがさきサポセン(申込の上ご参加ください)

市民活動げんき基金補助事業 申請募集期間
11 月 30 日(金)～1 月 17 日(木)

NPO 講座

市民活動のはじめ方、運営のイロハ

これから活動を始めたい人や、始めて間もない人、組織運営の基本を学びたい人向けに、スタート時点で整えておくべきこと、団体形態の違い、継続していく組織力に必要なことについて学べる講座です。

◆日 時：12 月 8 日(土) 14:00～16:00

◆場 所：ちがさきサポセン

◆講 師：益永 律子(認定特定非営利活動法人
NPO サポートちがさき 代表理事)

◆定 員：20 名(対象:市民活動団体など)

◆参加費：500 円(資料代)

◆申 込：11 月 15 日(木)より受付開始、先着順

～活動の魅力がもっと伝わる！～

広 報 紙 づ く り の ポ イ ン ト

「読んでもらえる特集を企画したい」「文章の書き方を学びたい」「センスのいい紙面にしたい」など広報担当者や紙面づくりに関心がある方向けに広報紙づくりの基本やノウハウをプロの記者から具体的・実践的に学べる講座です。

◆日 時：1 月 19 日(土) 14:00～16:00

◆場 所：ちがさきサポセン

◆講 師：山田 高敬さん(株式会社タウンニュース社
茅ヶ崎編集室 記者)

◆定 員：30 名(対象:広報担当者/広報紙作りに興味のある方)

◆参加費：500 円(資料代)

◆申 込：12 月 15 日(土)より受付開始、先着順

お問合せ・申込みは、サポセンまで TEL/FAX 0467-88-7546、E-mail:s-center@pluto.plala.or.jp

もっと知りたい！サポセンのこと

『市民活動応援プログラム』2018年9月～10月

報告

市民活動団体等と行政の協働に向けた意見交換会

日付	市民活動団体名	テーマ	行政担当課
9/6	特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット	茅ヶ崎市が行っている講座の動画配信	文化生涯学習課
	ATOM の会	抗酸化食品(タマネギ外皮)を使用した 機能性食品の開発	産業振興課、農業水産課
9/11	特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット	茅ヶ崎市のポータルサイト	秘書広報課
	茅ヶ崎市国際交流協会	国際交流サロン	男女共同参画課、学校教育指導課
	認知症予防のための社交ダンス、 リリアンローズ	認知症予防のためのボールルームダンス (社交ダンス)	高齢福祉介護課
	湘南ロックンロールセンターAGAIN	湘南・茅ヶ崎サウンド&カルチャーの アーカイブ化	文化生涯学習課、社会教育課
9/14	NPO 法人 赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会	「鑑賞サポーター」活動	文化生涯学習課
9/19	ガーゼ帽子を縫う会	乳がんになってしまった人へのサポート (ガーゼ帽子作りとおしゃべりサロン)	地域保健課、健康増進課、市立病 院患者支援センター
9/21	ミナスタ	小学5年生対象の夢、創造、可能性を テーマにした授業プログラム	学校教育指導課
	ツインウェイヴ北口ガーデンクラブ	赤羽根十三区保全地区における共存共栄 のまちづくり	市民自治推進課、環境政策課、景 観みどり課、松林公民館

市民活動団体から出された課題と協働による解決が期待される事業企画案について話し合いました。

平成 30・31 年度行政提案型協働推進事業 公開プレゼンテーション：12/1(土)10:00～市役所本庁舎 4 階会議室
どなたでも傍聴できます

～総合的な学習の授業～

ボランティア塾 in 鶴嶺高校

▶日 時：10/25(木)5・6 時間目 ▶場 所：鶴嶺高校各教室

▶参加者：1 年生 400 名

▶今年のテーマは、災害/平和/人権

第一部では「自分を動かす方法」と題し、鶴嶺高校 OG の菊池モアナさんが、国内でのボランティア活動、留学先タンザニアでの NGO 活動の中で、どのように自分を突き動かしてきたかについて、熱く語りました。

話は、諦めてしまったこと、踏み出せなかったことがなかったか、胸に手をあてて自問してもらうことから始まりました。「無理かもしれないというときこそ視点を変えてみる」というモアナさんのやり方は、ボランティア活動に留まらず、日常の中で何か困難なこと、断念しそうになることを乗り越え、夢を掴むための大切な方法です。そのことを自分の経験をもとに、後輩たちにエールを送ってくれました。

第二部は過去最多の 19 団体が参加。伝えたい NPO と希望した高校生が出会い、学ぶ機会となりました。

～生徒ふりかえりより～

《第一部》「自分の可能性を思い込みでつぶすのは凄くもったいないことだと思った」「選択することがあるとすごく迷うことが多いけれど、それは悪いことではないことがわかりました」「簡単に諦めてしまわないことを心がけたい」

《第二部》「災害時、高校生こそやるべきことが沢山あり私も役に立てると気づけた」「福祉への美容の関わり方があることに驚いた」「生活していく中で『平和』を気にかけていきたい」



▲菊池モアナさん

▶参加した 19 団体名と授業のテーマ◀

●Team Aid for Japan～しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア(TAJ):もしもの震災時に私たちにできる事●防災スイッチオン！プロジェクト:＃防災スイッチオン！～スマホ SNS で備えてサバイバル！●「わーく」編集部(SCF):在宅、避難者のメッセンジャーとしての高校生●(特非)もったいないジャパン:歓迎？迷惑？被災地の「物資」寄付の最前線●(特非)ちがけせんプロジェクト:スポーツで助け合える心を作ろう●筆記通訳サークル「虹」:聴覚障害者に書いて情報を伝えましょう●茅ヶ崎市聴覚障害者協会&茅ヶ崎市手話通訳者連絡会:聴覚障害の基礎知識、接し方●(特非)ウェルフェアポート湘南:介助犬・聴導犬について知ろう●Hearts:職業≠仕事≠志事自分に嘘のない生き方●(特非)発達サポートネット バオバブの樹:発達障がいを通して知る、人の多様性●ちがぼ～(茅ヶ崎に冒険あそび場を作ろう会):自由に遊ぶことが、生きる力につながるって本当？●ヒロシマを語る会-神奈川:被爆の実相を若者に伝えることは出来るのか？●平和を考える茅ヶ崎市民の会実行委員会:平和の象徴・オリヅルのメッセージを知ろう●虹の丘おやじの会 RAM:戦争で垣間見た茅ヶ崎のもうひとつの未来●サンチャイ・ネパールねばるば:貿易ゲームを通して、世界の状況を知り、支援について考える●ALL ABOUT AFRICA:世界を知ってみよう！アフリカの写真から学ぶ国際理解教育●日本吟心流詩吟国舟会:漢詩、漢文の詩情を通しての勉強●茅ヶ崎・宮沢賢治の会:賢治の作品から人権を考える●一般社団法人アステム湘南スポーツソサエティ:スポーツを通じて地域貢献・地域スポーツの振興(順不同)

NPO 講座 「市民活動の SNS 活用術」



日 時：9/29(土)18:00~20:00
場 所：ちがさきサポセン
参加者：20 名
講 師：山田 泰久 氏
(NPO 法人 CANPAN センター
代表理事)

情報発信力を高める秘訣

「誰に、どんな情報を届けて、どんなアクションをしてほしいのかを考える」「すべての人に理解される情報発信ではなく、情報を届けたい人を特定して、その人をイメージした情報発信を行う」「ターゲット層がよく見るサイト、使用するツール、情報収集する時間帯を調査

し、情報発信を行う」などターゲット層を意識して発信することが重要です。若者世代は Twitter、シニア世代は Facebook が多く、情報を届けたい相手によって使い分けが必要であることも学びました。

SNS で気をつけること

位置情報やパスワード管理を徹底し、知らない人と友達にならない、不審な URL はクリックしないなど、セキュリティに気を付けること、自分や相手のプライバシーを守り、暴言・悪口を書かないことなど、皆さん気を付けましょう。参加者からは「現在の SNS の状況が分かり、今後の取組みに活かしたい」「なんとなく利用していた SNS のことがクリアになった」などの感想をいただきました。



茅ヶ崎で活躍中の NPO を追っかけレポート！

さぽちゃんが行く！

げんき基金補助事業
実施団体 編

「子ども未来塾」

2016 年 9 月設立。会員 5 名、週 2 回（水曜・土曜）2 時間程度、下赤羽根自治会館をかりて、近隣の子どもたちへ無償で学習支援を行っています。保護者の教育相談もしています。

《代表の長谷川さんと会員の方にお話を伺いました》

地域で育てる、地域の子ども

退職後、保護司として保護観察をしている子どもたちと付き合ううちに、様々な理由で小学校時代から不登校になっていること、勉強が遅れがちな子どもが多いことを知りました。そんな子どもたちは、中学校に進んでも勉強についていけなかったり、問題を起こしたりしています。また、教師時代、生徒指導に追われ、まじめに生活している子どもたちや、本当に勉強をしたい子どもたちを十分には面倒見てやれないこともあり。そのようなことから、まずは勉強したいという小学生を中心に学習支援をしたいと思うようになり、未来塾を設立しました。

小さい時から地域で顔の見える関係を作り「挨拶」「言葉遣い」「人の話の聞き方」「立ち振る舞い」など、人として基本である“文化資本”を身につけることの大切さも学習支援を通して教えています。

集中して勉強できる時間

通ってきている子どもたちは、口コミなどで広まり今では 4 学区、約 60 名が登録しています。学習支援者は、元小中学校教諭や自治会関係者の 5 名。長期の休みには、大学生も手伝いに来てくれます。子どもたちは好きなペースで通い、学校の宿題や勉強に真剣に取り組む、学習習慣を身につけています。保護者からの

教育・子育ての相談も受け、教育現場で培った経験を生かし、活動しています。昨年、市のげんき基金補助制度で複写機、辞書、教科書を買いました。子どもたちの勉強したい気持ちに大いに役立っています。支援者は、「わかったと喜ぶ子に会えるのが嬉しい、元気がもらえる、子どもたちがかわいい、楽しくて仕方がない」と充実した時間を過ごしています。

また、家庭では勉強のことで親子喧嘩も減り、保護者の方にもプラスになっているそうです。地域で勉強の場を提供することで、教える側と教わる側の相互理解が生まれ、人と人との繋がりが強くなり、自治会行事への参加も増えて地域が元気になります。

未来へつながる学びの場

「今、地域で種をまいている。子どもたちが成長し、この地域に帰ってきて、教える側になってくれたら嬉しい。そして、“地域の子どもは、地域で育てる”の思いを他の地域にも広めていきたい。また、未来ある子どもたちに、塾を利用してもらい、自主・自律などを育む一助となってくれば」などと、活動への熱い思いを語ってくださいました。

一緒に学習支援して下さる方、募集中です！



視察・研修受入／講師派遣

▶9/21 秦野市市民活動サポートセンター視察 3 名 ▶10/15~10/20 県職員 NPO 活動体験派遣研修受入 1 名

「歩いて楽しい茅ヶ崎のまちを
ノルディックウォーキングで体感しよう！」

健康効果も兼ねたノルディックウォーキングでまち歩き
をして茅ヶ崎のまちの魅力を再発見しましょう！

- ◆日 時：12月5日(水) 10:00～12:00(雨天中止)
- ◆集合/解散場所：大曲橋のたもと(小出川左岸下流側)
- ◆コース：民話「河童徳利」発祥の地～「湘南タゲリ
米」の生産地～小出川の土手
- ◆講 師：高見澤 和子さん(特定非営利活動法人アーバ
ンデザインセンター・茅ヶ崎(UDCC)代表)
亘 征子さん(湘南茅ヶ崎ノルディックウォー
キング(SCNW)同好会 代表)
- ◆定 員：20名(申込制・先着順)、どなたでも参加可
- ◆参加費：300円(資料代)
- ◆持 物：ノルディック用ポール、タオル、飲み物等
※ポールは事前予約の上、当日500円で貸出可
- ◆問合せ/申込先：ちがさきサポセン

服部市長のご冥福をお祈りします

2003年7月、160名が参加した市長・市民活動団体の
懇話会で服部信明新市長は、「民の力」を活かしてまち
づくりを進めることで、厳しい時代をのりきり、その
ための仕組みづくり、市民と行政の「共働」を宣言。
「行政で補いきれないところは皆さんの力や知恵を是
非お貸しいただきたい」、同時に行政側の姿勢につい
ては、市民の皆さんと「共働」していくという職員の意
識への徹底を図ってゆきたいと、決意を述べられました。
(News Letter Chigasaki さぼせん 第2号より抜粋)

服部市長が15年間にわたり推進されてこられた「一
緒に考え、共に行動する市民参加型の市政」がこれか
らも継承されることを切に願っております。

認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき
代表理事 益永 律子

広報ちがさき(毎月15日号)
「市民の活動だより」掲載団体紹介(1月まで)

- ▶11/15号：萩園いこいの里ロビー活動実行委員会
- ▶12/15号：ちがぼ～
- ▶1/15号：フォーラムちがさき



FM83.1 レディオ湘南

茅ヶ崎市広報番組「はまかぜちがさき」

毎月第4木曜日 8:15～8:20(5分間)、市民活動のイベント
などが紹介されます。ぜひ視聴ください。

11月							12月							2019年1月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4						1	2		①	②	③	4	5	6
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31			
○休館日：11/21							○休館日：12/19、12/28～12/31							○休館日：1/1～1/3、1/16						
□館内利用制限日：フリースペース(大)							□館内利用制限日：フリースペース(大)							□館内利用制限日：フリースペース(大)						
・11/9 まつりキックオフ交流会(夜間)							・12/8 NPO 講座(午後)							・1/19 NPO 講座(午後)						
・11/10 居場所づくり交流 (全館利用制限:午後～夕方)							・12/11 げんき基金企画書作成会(午前)							・1/26 こどたん						
・11/11 まつりキックオフ交流会(午前)							・12/21 げんき基金企画書作成会 (午後・夜間)							「場所&プログラム作戦会議」						
・11/17 NPO 講座(午後)																				

※主催イベント開催のため上記以外でもフリースペースのご利用を制限させて頂く場合があります。ご理解ご協力の程お願いいたします。

ちがさき市民活動サポートセンター

- ▶開館時間 9:30～21:30
- ▶休館日 毎月第3水曜日、年末年始(12/28～1/3)
- ▶アクセス JR 茅ヶ崎駅北口より徒歩10分程度・駐車場14台・障がい者用駐車場1台・駐輪場あり
- ▶連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎3-2-7 TEL/FAX: 0467-88-7546
ちがさきサポセン 検索 E-mail: s-center@pluto.plala.or.jp
- ▶指定管理者 認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき(指定管理期間：2017年4月1日～2021年3月31日)

サポセンキャラクター

“さぼちゃん”

